

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-25	小学校	社会	社会	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 401	新しい社会 4		

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

現代は、グローバル化と情報化が進展し、急速に社会が変化する中で、将来を予測することが難しくなっています。一方で、日本の社会は、人口減少、少子化、高齢化など、多くの課題を抱えています。こうした中で、社会について学び考え、社会とのかかわり方を身につけていくことを通して、未来のよりよい社会づくりに参画・貢献する国民・市民を育てていく社会科の役割は、ますます重要になっています。

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、社会科の目標である「公民としての資質・能力」の基礎を養うことを目指し、以下の3点を柱として編修に取り組みました。

特色 ①

社会について
「調べて、考えたく
なる」教科書



- 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。
- 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

特色 ②

「社会とのかかわる」
子供を育てる
教科書



- 社会的な事柄に参画・提案する場面を充実させました。
- 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

特色 ③

「主体的に、
楽しく学ぶことが
できる」教科書



- 「見通し」をもって学習を進めることができます。
- 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

01. 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。

① 1小単元での本時の「めあて」と学習段階の例

つかむ

わたしたちは、水をどのように使っているのでしょうか。

p.34

調べる

じょう水場では、どのようにして、水をきれいにしているのでしょうか。

p.38

まとめる

水はどのようにつくり、送られてくるのかをまとめてみましょう。

p.48

いかす

かぎりある水を、使い続けるために、自分たちができることを考えてみましょう。

p.50

● 1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを原則とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階を明示しました。

● 各学年に、見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階をたどりながら小単元の学習の進め方を示し、問題解決の流れがわかるようにしました。



02. 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。

空間

p.44

水げんの森は、県のどこに広がっているのかな。



時間

p.41

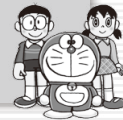
水の入手方法は、どのように変わってきたのかな。



相互関係

p.69

人々は、ごみをへらすためにどのように協力しているのかな。



方法(考え方)

p.57

自分が住む市や町でのごみの分け方と、くらべてみよう。



● 「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(考え方)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。

巻末に特設ページ(「どのように学んだか振り返ろう」)を設け、どのような「方法」を用いて学習したかを振り返ることができるようにしました(p.178)。

03. 「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができます。

「問題解決的な学習」を充実させることが、子供の主体的な学びをつくることにつながります。

● 「つかむ」場面では、「学習問題」を導き出せるよう、掲載する資料(写真・イラスト・グラフ)を工夫しました。

● 「話し合い」の場면을重視し、イラストや写真を適宜掲載するなど、紙面を工夫しました。

● 「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書く活動を位置づけています。



p. 34-35 グラフを見て考える



p. 30-31 県の特徴を話し合う



p. 70-71 カードにまとめ、考える

特色②

「社会とかかわる」子供を育てる教科書

01. 社会的な事柄に参画・提案する場面(学習段階「いかす」)を充実させました。

「水はどこから」の「いかす」

- 学習してきたことを振り返って自分たちにできることを話し合い、地域の「エコツアー」に参加する場面を掲載しました。



↑ p.50-51 「大切な水のために」

地域での活動に参加

参画・提案

「残したいもの 伝えたいもの」の「いかす」

- 地域に古くから残るものを受けついでいくために自分たちにできることを考え、ポスターをつくる場面を掲載しました。



↑ p.112-113 「身近な地いきを見直そう」

ポスターづくり

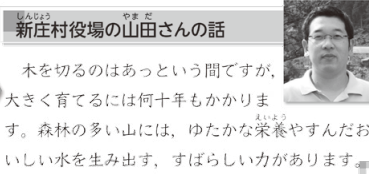
参画・提案

自分たちにできることを話し合い、地域社会の一員としての自覚をもてるようにしています。

02. 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

第4学年では、37人が掲載されています。

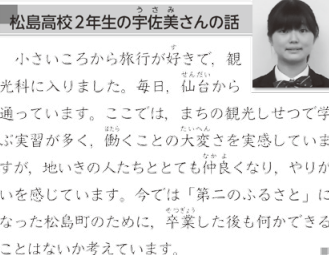
- 様々な仕事に携わっている人々の姿を、「○○さんの話」として随所に掲載しました。



木を切るのはあつという間ですが、大きく育てるには何十年もかかります。森林の多い山には、ゆたかな栄養やすんだおいしい水を生み出す、すばらしい力があります。

← p.45

↓ p.164



小さいころから旅行が好きで、観光科に入りました。毎日、仙台から通っています。ここでは、まちの観光させて学ぶ実習が多く、働くことの大変さを実感していますが、地いきの人たちとともに仲良くなり、やりがいを感じています。今では「第二のふるさと」になった松島町のために、卒業した後も何かできることはないか考えています。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

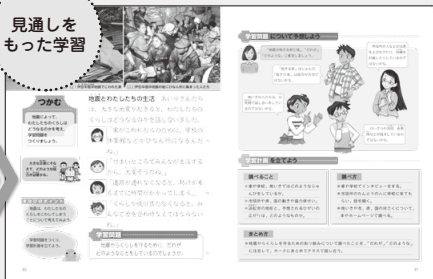
特色③

「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

01. 「見通し」をもって学習を進めることができます。

学習問題をつくる 学習問題について予想 学習計画を立てる

- 「学習問題」をつかった後の段階に、「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。



- 第4学年の冒頭に、「3年生で学んだこと」と、「4年生で学ぶこと」をそれぞれ見開きで掲載し、既習事項を振り返り、見通しをもって第4学年の社会科学習に入れるようにしています。

← p. 80-81 学習問題をつくり、学習計画を立てる

02. 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

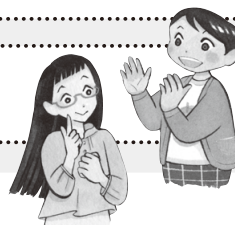


- 見開きを使った迫力のある新規イラストを3か所に掲載しました。

- 資料には、見開きごとに通し番号を付けています。

- 世界で親しまれているドラえもんや、親しみやすい児童キャラクターが、学習をナビゲートします。

← p.32-33



2. 対照表

図書の構成・内容	とくに意を用いた点や特色	該当箇所
3年生で学んだこと／ 4年生で学ぶこと	・第3学年の既習事項を振り返り、第4学年の学習内容を提示することで、第4学年の社会科学学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.2-5
1 わたしたちの県 1 県の広がり	・県の地形や土地利用など、県の様子を学習する中で、自然環境の保全が地域社会の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号)	p.16-31
2 住みよいくらしをつくる 1 水はどこから 2 ごみのしよりと利用	・「水」「ごみ」とも、小単元の最後に「いかす」学習段階の紙面を見開きで掲載し、児童自らがよりよい社会の形成について考えたり、社会に参画する態度を養ったりすることができるようにしました。(第3号) ・リサイクルや3Rなど、資源の有効利用や再利用の大切さを考え、実践する意欲や態度をはぐくむ教材を取り上げました。(第4号)	p.50-51, 72-73 p.62-67
3 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る	・地震からくらしを守るための、市と住民の協力や住民同士の協力など、地域の人々が協力して社会的な活動に取り組み、よりよい社会の形成に参画している様子を具体的に取り上げました。(第3号)	p.76-95
4 きょう土の伝統・文化と先人たち 1 残したいもの 伝えたいもの 2 谷に囲まれた台地に水を引く	・自分たちの県に古くから伝わる建造物・芸能・祭りを取り上げ、地域への愛着を深めることができるようにしました。さらに「いかす」段階で、地域に古くから残るものを受けつぐために、自分たちにできることを考える場面を設定し、社会に参画しようとする態度を養うことができるようにしました。(第3号)(第5号) ・先人の努力によって発展してきた地域に誇りと愛情をもち、地域のよりよい発展について考えることができるようにしました。(第3号)(第5号)	p.102-113 p.114-131
5 特色ある地いきと人々のくらし 1 すずりをつくるまち ・石巻市雄勝町 2 国際交流に取り組むまち ・仙台市 3 美しい景観を生かすまち ・松島町 3 古いまちなみを生かすまち ・登米市登米町	・県内の特色ある地域を取り上げる中で、様々な仕事やまちづくりなどの社会的活動にかかわる人の姿を「○○さんの話」として随所に取り上げ、共感的な理解をうながすようにしました。(第2号)(第3号) ・伝統的な技術を受けついできた地場産業を学習することで、伝統と文化を尊重し、地域への愛着を深めることができるようにしました。(第5号) ・国際交流に積極的に取り組んでいる自治体を取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	p.140-175 p.142-149 p.150-165

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

01 全ての児童が使いやすい紙面への配慮

- ① **特別支援教育への配慮** ・全ての児童にとって使いやすくわかりやすいユニバーサルデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

- 本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウト。
- 児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つよう工夫。

カラーバリアフリーに配慮

- 図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮。
- 紙面の検討に際しては、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得ました。

ユニバーサルデザインフォントの使用

- 教科書の一部にユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権上の配慮** ・児童キャラクター(男性3,女性3)やイラストに描かれる人物が、性別による偏りがないようにしました。
・「国際交流」の紙面では、地域には多様な人々がくらししていることが伝わる写真を選定しました。

③ 造本の工夫

(判型, 書体, 用紙等)

判型

- 資料性, 視覚的効果が
高い幅広の判型を使用。
- ランドセルや机, 道具
箱への収納にも配慮。

書体

- 教科書本文は,
書き文字に近い教科書体
を使用。


用紙・印刷

- 用紙は, 軽さや丈夫さと, 挿絵や写真の表
現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- 鮮明な挿絵, 写真等の印刷で, 学習内容へ
の関心を高め, 意欲を喚起するとともに,
資料の確実な読み取りが可能。

02 今日的な課題への取り組み

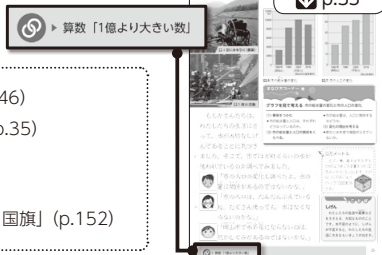
① 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

・「教科関連マーク」

 (教科名)を新設し,
関連する他教科の学習
内容を示すようにしま
した。

例

- ・書写 「書写で使う道具」(p.146)
- ・算数 「1億より大きい数」(p.35)
「面積の単位」(p.127)
- ・理科 「水の性質」(p.47)
- ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」(p.152)



・教科書の随所に掲載し
ている「○○さんの話」
は, 地域の人材活用を
念頭に置いて構成して
います。

② 国旗の取り扱い

・「国際交流」の地図に自治体が
交流している外国の国旗を示し,
国と国が交流する際にお
たがいの国旗を尊重するこ
とが大切であることを記述して
います。 (p.152)

③ 道徳教育との関連

・社会科の教科特性に応じて道徳
性を養うことができるよう, 人
間尊重や公共の精神, 生命や自
然への畏敬の念をはぐくむ教材
を適所に取り上げました。

(p.114-131, p.134-135ほか)

④ 防災, 安全教育への対応

・「地震からくらしを守る」の小単
元で, 市の取り組み, 市と住民の
取り組み, 住民どうしの協力を取
り上げ, 自助・共助・公助につい
て考えることができるようにしま
した。 (p.78-95)

⑤ 国際理解・グローバル教育への取り組み

・国際姉妹都市・国際友好都市など, 国際交流に積極的
に取り組んでいる自治体を取り上げ, 外国人住民と日本人
住民との交流の様子を学ぶことで, 児童の国際理解が進
むようにしました。 (p.150-157)

⑥ 環境教育への取り組み

・「水はどこから」では, 「いかす」場面で見開
きのキーワードである「ことば」として取り上げ, 未
来を視野に入れて環境問題について考えることができ
るようにしました。 (p.50-51)

⑦ 教育のICT化への対応

- ・「D (デジタル) マーク」を示している箇所には, 社会科学習への興味・
関心を高めることができるコンテンツを用意しました。目次ページに掲載
したURLか2次元コードからアクセスすることができ, 家庭学習で
活用することができます。
- ・制度化された学習者用デジタル教科書と, 教科書に完全準拠した指導者用
デジタル教科書(教材)を発行します。指導者用デジタル教科書は, 動画
資料, アニメーション, 自由に教材を作成する機能などを収載しています。

⑧ 教員支援

- ・教師用指導書は, 「指導編」では「板書例」「発
問例」を載せ, 「評価」に関する内容も充
実しています。また, 「研究編」には小単
元ごとの「知識の構造図」を載せ, 授業に
際して活用できるようにしています。
- ・教師用指導書「研究編」には, 「複式年間
指導計画」を掲載しています。

03 そのほかの取り組み

① 地図帳の活用

・第4学年の冒頭に, 見開きを使っ
たまなび方コーナー「地図帳を使っ
てみよう」(p.6-7)を掲載しました。

② 家庭学習への対応

- ・応用, 発展の位置づけの「ひろげる」
は, 家庭学習で活用できます。
- ・上記「D (デジタル) マーク」参照。

③ 自衛隊の扱い

・「自然災害からくらしを守る」で, 自
衛隊の災害派遣について写真と本文で
記述しました。 (p.79, 96, 98)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-25	小学校	社会	社会	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 401	新しい社会 4		

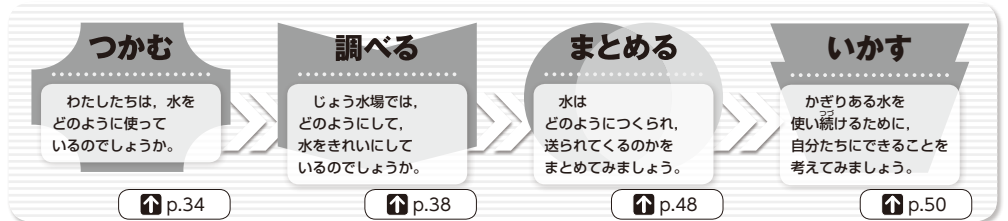
1. 編修上, とくに意を用いた点や特色



01 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。
 新学習指導要領の第4学年の目標で「学習の問題を追究・解決する活動」と明記され、問題解決的な学習がいっそう重視されています。

●教科書に沿った学習で、「問題解決的な学習」の展開が可能

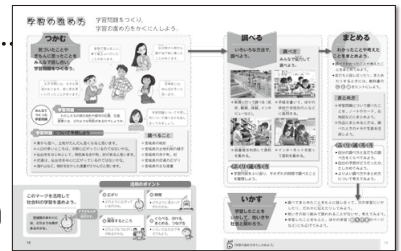
「学習問題」や見開きごとの本時の「めあて」をはっきりと示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。



●学習段階ごとに、具体的な学習の進め方を提示

「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を詳しく説明しています。

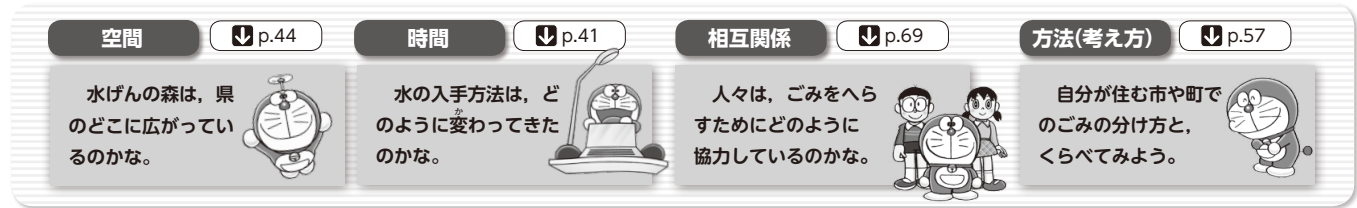
▶ p.18-19 学習の進め方



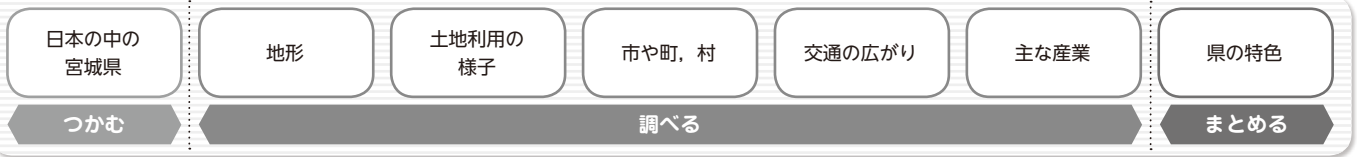
02 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。
 新学習指導要領の第4学年の目標で、「社会的事象の見方・考え方を働かせ」ことが明記されました。

●一目でわかる「見方・考え方」の囲み

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、考え方（「方法」）の合わせて4種類の囲みを使い分けています。



03 学習を進めやすい紙面展開
 新学習指導要領では、「着目」として具体的に調べる内容が明示されました。
 教科書では「着目」の文言をふまえて、学習を進めやすい紙面展開にしています。



▶ 「県の広がり」の小単元の紙面展開 (調べる: 「地形」～「主な産業」)

「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」で、「主体的・対話的で深い学びの実現」を図ることが明記されたことをふまえ、「問題解決的な学習」の充実を図るなど、教科書の改善を図りました。

● 資料を読み取り、考える

「つかむ」場面では、「学習問題」を児童が導き出せるよう、掲載する資料を工夫しました。



p. 34-35 グラフを見て考える

● 対話的な学び

「話し合い」の場面や社会で働く人から話を聞く場面を重視し、イラストや写真を適宜掲載しました。



p. 30-31 県の特徴を話し合う

● 学習を振り返り、考える

「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書く活動を位置づけています。



p. 70-71 カードにまとめ、考える

特色②

「社会と
かかわる」
子供を育てる
教科書

社会的な事柄に参画・提案する場面
(学習段階「いかす」)を充実させました。

新学習指導要領では、「飲料水、電気、ガス」や「県内の伝統や文化」は「自分たちにできることを考えたり」「選択・判断したりできるように」配慮することとされました。

● 自分たちにできることを考え、地域社会の一員としての自覚をはぐくむ

「水はどこから」の「いかす」

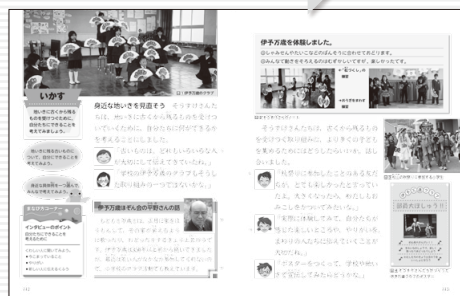
学習したことを振り返り、自分たちにできることを考え、地域のエコツアーに参加する場面を掲載しました。



p.50-51 「大切な水のために」

「残したいもの 伝えたいもの」の「いかす」

地域に古くから残るものを受けついでいくために自分たちにできることを考え、ポスターをつくる場面を掲載しました。



p.112-113 「身近な地いきを見直そう」

社会に生きる人々の姿に学ぶ。

● 多様な人の生き方を、インタビューをもとにした生の声で学ぶ

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

第4学年では、37人が掲載されています。

八ツ鹿ほぞん会の曾根さんの話

ここでは、小学校高学年の子どもたちがおどります。毎年9月から1か月くらい練習し、ビデオは使わずに、直せつ教えることを大切にしています。一つのおどりにおよそ13分かかります。ほぞん会に入っている人たちは、みんな、かつて「八ツ鹿おどり」をおどった人たちです。みんな、「一年一年つないでいく」という思いで、大切に受けついでいます。



p107

松島高校2年生の宇佐美さんの話

小さいころから旅行が好きで、観光科に入りました。毎日、仙台から通っています。ここでは、まちの観光しせつで学ぶ実習が多く、働くことの大変さを実感していますが、地いきの人たちととても仲良くなり、やりがいを感じています。今では「第二のふるさと」になった松島町のために、卒業した後も何かできることはないか考えています。



p.164

p.45

新庄村役場の山田さんの話

木を切るのはあつという間ですが、育てるには何十年もかかります。森林の多い山には、ゆたかな栄養やすんだお水を生み出す、すばらしい力があります。



様々な仕事に携わっている人々、伝統文化の継承に取り組んでいる人々、留学生、高校生など、多様な人々を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

特色 ③

「主体的に、
楽しく学ぶ
ことができる」
教科書

01

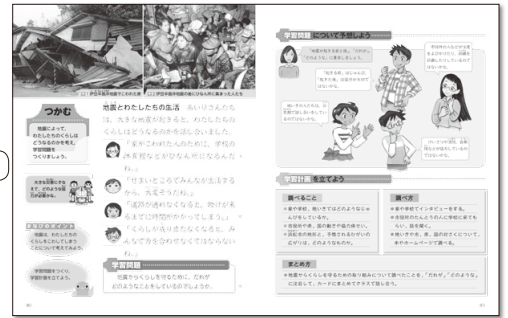
見通しをもって、
学習を進めることができます。

● 予想と学習計画で、問題解決の
見通しをもつ

「学習問題」をつかった後に、
「学習問題について予想しよう」
「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、
見通しをもって学習を進められるようにしました。

▶ p.80-81 学習問題をつくり、学習計画を立てる

冒頭に「3年生で学んだこと」と「4年生
で学ぶこと」、最後に1年間を振り返る「4
年生で学んだこと」を掲載しました。



↓ 「見通し」と既習事項の「振り返り」を
重視した教科書の流れ

p.2-3

3年生で学んだこと
「みんながくらすまち」

p.4-5

4年生で学ぶこと
「わたしたちがくらすいる県」

p.8-175

第1～第5単元
(予想と学習計画を
立てる場面を重視)

p.176-177

「4年生で学んだこと」

p.178

「どのように学んだか
ふり返ろう」

02

「まとめる」場面では、多様な表現活動に
取り組むことができます。

● 「まとめる」活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てる

学習問題を解決する場面では、図にまとめる、カードにまとめる、年表
にまとめる、4コマCMをつくるなどの表現活動を提示し、習得した知識
を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育てます。



▶ p.110-111 年表にまとめる

▶ p.149 4コマCMにまとめる



03

学習場面に応じた学び方を
「まなび方コーナー」で示しています。

まなび方コーナー

見る・聞く・ふれる

- 地図帳を使ってみよう 6
- 地いきのせつびをかくにんする 85
- インタビューのポイント 112
- げんちを見て歩く 119
- インターネットを活用する 151

表す・伝える

- グループでまとめる 70
- ゲームで考える 94
- 表にまとめる 111
- 調べた内容で表彰式を行う 130
- 要点を伝える 149

読み取る

- ちせい 地勢図を読み取る 21
- 土地利用図を読み取る 22
- 産業マップを読み取る 29
- グラフを見て考える 35
- 表を読み取る 57
- 等高線を読み取る 120

4年生では、
16か所の
「まなび方コーナー」を
掲載しました。

04

活用できる写真やイラストなどの
資料を数多く掲載しました。

資料には、見開きごとに通し番号
を付け、活用しやすくしています。

▶ 1 宮城県の土地利用図

▶ 2 仙台平野

▶ 3 蔵王町の樹氷



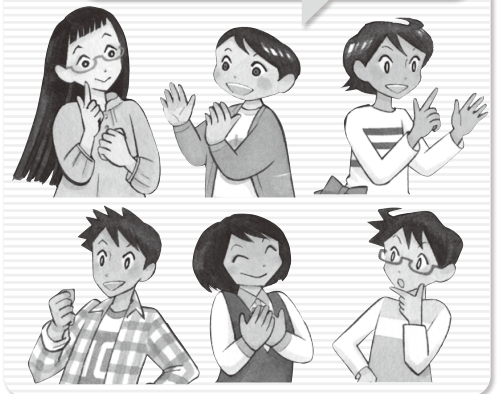
▶ p.32-33 住みよいくらしを
つくる

▶ p.100-101 きょう土の伝統・
文化と先人たち

見開きを使った迫力のある
新規イラストを
3か所に掲載しました。



親しみやすい児童キャラクターが、ドラ
えもんとともに学習をナビゲートします。



観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。(全体) ・第2号については、実際に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の誇りや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。 ・第3号については、「いかす」の学習段階で、自分たちにできることや、他者に発信する活動を位置づけ、社会参画の基礎を培うことができるようにしました。
<p>学習指導要領の教科の目標との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。(全体) ・「見方・考え方」の囲みを新たに設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。(全体) ・小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしました。(全体) ・様々な仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを囲み文「〇〇さんの話」で提示して共感的に理解させることにより、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしました。(全体)
<p>社会的な見方・考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(「考え方」)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか明確にわかるようにしました。(p.18下, p.41, p.44, p.57, p.69) など ・巻末に特設ページ(「どのように学んだか振り返ろう」)を設け、どのような方法(「考え方」)を用いて学習したかを振り返ることができるようにしました。(p.178)
<p>思考力・判断力・表現力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。 ・「いかす」場面では、ごみをへらすために自分たちにできることを話し合ったり、古くから残るものを継承していくことを考えてポスターをつくったりする活動を提示しました。
<p>基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。(p.21「地形」)(p.67「3R」)(p.105「文化ざい」)(p.159「景観」) など ・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。(p.180) ・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。(p.35「グラフを見て考える」)(p.70「グループでまとめる」)(p.120「等高線を読み取る」) など
<p>資質・能力への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しました。 ・(「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」) ⇒ 上掲 ・(「学びに向かう力, 人間性等」) 「残したいもの 伝えたいもの」の小單元では、県内の伝統・文化を学ぶことで地域のよさに気づき、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができるようにしました。また、「特色ある地いきと人々の暮らし」の「いかす」場面では、特色ある地域や自分たちのまちのよさを発信することで、地域社会の一員としての自覚をもつことができるようにしました。
<p>学習方法・授業展開への配慮 (アクティブ・ラーニングなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年では、教科書に示した典型的な学習の流れを「まなびのポイント」で明示し、地域の実態を生かした学習指導に応用・転移できるようにしました。(p.24下) など ・話し合いの場面を重視し、適所でイラストで示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。(p.30-31) など ・どのような方法(「考え方」)を用いて学習したかを振り返ったり、別の学びの進め方(「協力して、話し合ってみよう」)に取り組んだりすることができるよう、特設ページを設けました。(p.178-179)
<p>問題解決的な学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階(つかむ, 調べる, まとめる, いかす)を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開をうながしました。 例(第2單元 1「水はどこから」): (p.33単元の「めあて」)(p.34～「つかむ」)(p.38～「調べる」)(p.48「まとめる」)(p.50「いかす」)
<p>地図帳の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭にまなび方コーナー「地図帳を使ってみよう」を設けました。(p.6-7) ・「わたしたちの県」のオリエンテーションで、地図帳の活用を明示しました。(p.8-9) ・「県の広がり」の「つかむ」段階で、地図帳を活用することを明示しました。(p.16-17)

今日の課題に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の学習内容に応じて、今日の課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…(p.82-83「家庭でそなえているもの」), 環境…(p.50-51「大切な水のために」) (p.62-67「リサイクル, 3R」), エネルギー…(p.52-55「くらしをささえる電気」「くらしをささえるガス」) など
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容をページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。 (p.35 算数「1億より大きい数」) (p.47 理科「水の性質」) (p.152 外国語「世界のさまざまな国と国旗」) など
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・共生の取り組みを進めている自治体を取り上げたほか、大型イラスト中の点字ブロックの扱いなど、基本的人権を尊重する知識と態度が身につくようにしました。(p.150-157) など ・キャラクターやイラストに描かれる人物などが、性別による偏りがないようにしました。
印刷・造本の工夫 (親しみやすさ, 使いやすさなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料性, 視覚的効果が高く, ランドセルや机, 道具箱への収納にも配慮した幅広の判型を用い, 見開きの情報量を充実させるとともに, 資料提示効果の高い紙面構成に努めました。 ・軽さや丈夫さと, 挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用し, 挿絵, 写真等の印刷は鮮明で, 学習内容への関心を高め, 資料の確実な読み取りができるようにしました。
印刷・製本の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の高い植物油インクで印刷し, 長期の使用や持ち運びに耐えるよう, 表紙には汚れにくく, 防水効果, 強度の高い加工 (PP加工) を施すとともに, 堅牢な針金綴じを用いて製本しました。
書体・大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と, 視覚にうたえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに, 児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また, 読みやすさを追求し, 適所にユニバーサルデザインフォント (UDフォント) を用いました。
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科との関連や児童の発達に十分配慮し, 当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また, 一文を短く, 全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方, 必要な場面では, 学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。
特別支援教育にかかわる適切な配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が障がいその他の特性の有無にかかわらず教科書を学習できるよう, ユニバーサルデザインの考えに基づいて, 紙面を作成しています。 ・カラーバリエーションに取り組みボランティア団体の協力を得て, 配色や色にかかわる表現を点検するとともに, だれも見やすく, わかりやすい落ち着いたレイアウトに努めました。図表の配色に当たっては, 必要に応じて形や模様により識別できるようにしました。

2. 対照表

配当時間数計：90

単元名・小単元名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
1 わたしたちの県	(1) 都道府県の様子		p.8-31	11
○日本地図を広げて	「都道府県の様子」	(1) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.10-15	2
1 県の広がり	「都道府県の様子」	(1) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.16-31	8
2 住みよいくらしをつくる	(2) 人々の健康や生活環境を支える事業		p.32-75	24
1 水はどこから	「飲料水を供給する事業」	(2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.34-51	11
2 ごみのしよりと利用	「廃棄物を処理する事業」	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.56-73	12
3 自然災害からくらしを守る	(3) 自然災害から人々を守る活動		p.76-99	10
1 地震からくらしを守る	「自然災害から人々を守る活動」	(3) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.78-95	9
4 きょう土の伝統・文化と先人たち	(4) 県内の伝統や文化, 先人の働き		p.100-139	22
1 残したいもの 伝えたいもの	「県内の伝統や文化」	(4) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.102-113	9
2 谷に囲まれた台地に水を引く	「先人の働き」	(4) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.114-131	12
5 特色ある地いきと人々のくらし	(5) 県内の特色ある地域の様子		p.140-175	23
1 すずりをつくるまち	「地場産業」	(5) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.142-149	7
2 国際交流に取り組むまち	「国際交流」	(5) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.150-157	7
3 美しい景観を生かすまち	「自然環境」	(5) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.158-165	(7)
3 古いまちなみを生かすまち	「伝統的な文化」	(5) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.166-173	(7)